

(様式第1号)

2019年4月26日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領域名：心理・社会的支援の領域
科目名：地域に対するプログラムの企画
単位数：2単位
認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人静岡県介護福祉士会
団体事務所の所在地：〒420-0856
静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
電話：054-253-0818
FAX：054-253-0829
E-mail：shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：一般社団法人静岡県介護福祉士会
申請責任者：会長 及川 ゆり



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援の領域	
科目名	地域に対するプログラムの企画	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステムにおける介護の位置や役割を理解させ、連携の視点を形成させる。 ・自分の地域における家族支援、地域連携、地域資源開発などの具体的な取り組みを学習し、地域の課題やニーズに応じた自職場のプログラムを企画させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの考え方、政策や制度の枠組み、推進・連携の仕組みについて説明できる。 ・自分の地域の地域ケアシステム構築の取り組みの現状と今後の課題を踏まえ、自職場の立ち位置や役割、今後の活動方針について説明できる。 ・地域の課題やニーズに応じた家族支援、地域連携、地域資源開発、介護職への研修支援などのプログラムを企画できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>○地域包括ケアシステムの考え方と構築にむけた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療（認知症医療を含む）、地域リハビリテーション、生活支援サービスの開発と多様な地域資源・活動の開発、ニーズに応じた住まいの確保・マッチングと住まい方の支援等 	<p>○課題学習【事前】（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師が指定する地域包括ケアシステムに関する資料を読み、政策動向（医療・介護総合確保法、地域包括ケアシステム、地域共生社会等）を確認する。 ・自施設・事業所のある市町村の介護保険事業計画、地域医療計画を読み、自分の地域で想定されるニーズ、既存あるいは不足する社会資源（インフォーマルな資源・活動含む）等を把握するとともに、医療介護の連携や生活支援サービスの開発についての課題を踏まえ、介護福祉士の役割、自職場の事業展開の方向等について、レポートにまとめ提出する。 <p>【1日目】</p> <p>○講義（2時間）</p> <p>「地域包括ケアシステムの考え方と構築に向けた課題」</p> <p>地域包括ケアシステムが政策課題となった背景、実施機関（地域包括支援センター等）、医療-介護連携（地域リハ、地域連携パス・退院支援、小規模多機能等）、認知症支援（初期集中支援チーム、認知症ケアパス等）、地域ケア会議、介護予防・生活支援サービス、居住支援（サービス付高齢者住宅、公営住宅等）など、システムの構成要素とされるものの内容と課題、その中で介護及び介護福祉士の役割、介護者支援など全体像を概説。</p>

<p>○自分の地域における地域ケアシステム構築の課題等の把握と等の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画の分析と今後の地域の課題やニーズの分析 ・地域における家族支援、地域支援、多機関・多職種連携、居住問題等への取り組みや課題の調査 <p>○地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画</p>	<p>○講義及びグループディスカッション (2時間)</p> <p>「地域包括ケアシステム構築にかかる具体的な実践」</p> <p>医療と介護の連携、認知症支援、介護予防・生活支援サービス、居住支援などの事例を具体的に紹介し、その取り組みの実際を学ぶ。自地域・自職場の取り組みの現状と課題についてグループで討議する。</p> <p>○講義 (1時間)</p> <p>「地域アセスメントとプログラム企画の視点」</p> <p>地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画の視点・方法について説明する。</p> <p>○演習 (3時間)</p> <p>「地域アセスメントとプログラム企画」</p> <p>共通事例に基づいて、地域課題の抽出、自地域を想定した既存あるいは不足の社会資源(インフォーマルな資源・活動含む)の検討、自職場での取り組みを想定したプログラムを検討。個人作業及びグループ討議を通して、課題分析からプランを構築する過程を体験的に学ぶ。</p> <p>○課題学習 (課題) 6時間</p> <p>「自地域における地域包括ケアシステム構築の課題を分析したうえでその課題解決に向けた自職場でのプログラムを企画する」(課題を提出する)</p> <p>【2日目】</p> <p>○講義 (1時間)</p> <p>「プログラム評価の視点と留意点」</p> <p>参加者が提出した中間課題を踏まえ、課題抽出とプログラム企画における地域住民や多職種との連携の視点・留意点、この後の演習における相互評価の視点を講義。</p> <p>○演習 (4時間)</p> <p>「プログラムの相互評価」</p> <p>グループに分かれ、受講者が各自企画したプログラムを報告。他のメンバーは、地域課題の解決に向け、より具体性を持たせるよう質問・改善提案等を行う。受講者はメンバーからの意見をうけ、当初案の課題をまとめる。</p> <p>○発表及び企画案の共有 (1時間)</p> <p>各グループで選んだプログラムをいくつか発表し、講師がさらにプログラム企画の視点・留意点を指摘。</p>
--	---

	<p>○講義（1時間） 「プログラムの実行に向けた合意形成・地域連携」 プログラムの実施に移していくための組織内の合意形成プロセス、地域との関係づくり、協働などの視点を理解させる。</p> <p>○評価及び解説（1時間） 筆記試験（30問）を行う。</p> <p>○課題学習【事後】4時間 ・演習で受けた評価を踏まえ、上司・同僚・地域の連携先の専門職や地域住民等からの意見を加えてブラッシュアップしたプログラムを提出。評価や意見が反映されていること、ブラッシュアップが適切になされていることを評価の基準とする。</p>
研修方法	<p>■集合研修 ■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせて行う。 ○課題学習は事前・中間・事後課題としてレポートの課題を課す。 評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	30時間（集合研修18時間、課題学習12時間）
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については30分を上限として認める。（レポート提出あり）</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（30問）において、 100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。D評価（59点以下）の場合は、再試験（本試験同様）を行い、AあるいはB評価とならなければならない。</p> <p>○レポート課題の評価について 100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了している者が望ましい ・地域に対する支援プログラムを企画・実施した経験のある有資格者（介護福祉士、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士）が望ましい ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I類を修了していること。

<p>修了評価</p>	<p>○修了評価として行う筆記試験（30問）において、 100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。D評価（59点以下）の場合は、再試験（本試験同様）を行い、AあるいはB評価とならなければならない。</p> <p>○レポート課題の評価について 100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。</p>
<p>(3) 研修の環境条件</p>	
<p>定員（講師の配置基準）</p>	<p>40名（講師1名）演習時も同じ講師で行う。ファシリテーターが必要な場合、認定介護福祉士又は資格取得後実務経験10年以上とする。</p>
<p>開催場所（都道府県）</p>	<p>静岡県総合社会福祉会館シズウエル（静岡県静岡市葵区駿府町1-70）</p>

コマシラバス (2日間)

科目【地域に対するプログラムの企画】

1日目【講義・演習9時間】

※本科目に関しては1時間を45分と換算します。

区分	科目名	時間	内容	
1コマ目	地域包括ケアシステムの考え 方と構築に向けた課題	9:30~11:00	90	地域包括ケアシステムの構築を目指す政策 動向を踏まえ、地域における介護福祉士の役 割や事業所の取り組みについて学ぶ。
	休憩	11:00~11:10		
2コマ目	地域包括ケアシステム構築にか かる具体的な実践	11:10~12:40	90	地域包括ケアシステムの構築に向けた医療 介護の連携、認知症支援、介護予防・生活支 援サービス、居住支援の具体的な取り組みや 実施機関（地域包括支援センター等）の役割 等について学ぶとともに、自地域・自職場の 現状・課題を考える。
	昼食休憩	12:40~13:40		
3コマ目	地域アセスメントとプログラム 企画の視点	13:40~15:10	90	地域課題の解決に向けた地域アセスメントと プログラムの企画の視点や方法について学 ぶ。
	休憩	15:10~15:20		
4コマ目	地域アセスメントとプログラム 企画（演習）	15:20~16:50	90	共通事例を用い、地域課題の抽出、社会資源 （インフォーマルな資源・活動含）の発掘・ 開発、プログラムの企画について体験的に学 ぶ。
	休憩	16:50~17:00		
5コマ目	地域アセスメントとプログラム 企画（演習）	17:00~17:45	45	共通事例を用い、地域課題の抽出、社会資 源（インフォーマルな資源・活動含）の発掘 ・開発、プログラムの企画について体験 的に学ぶ。

2日目【講義・演習9時間】

区分	科目名	時間	内容	
1コマ目	プログラム評価の視点と留意点	9:30~11:00	90	地域アセスメント及びプログラム企画にお ける地域住民や多職種との連携の視点・留意 点とともに、プログラム評価の視点を学ぶ。
	休憩	11:00~11:10		
2コマ目	プログラムの相互評価（演習）	11:10~12:40	90	グループ毎に、自己プログラムを報告する とともに、より具体的な企画立案に向けて相互 に評価を行う。
	昼食休憩	12:40~13:40		
3コマ目	プログラムの相互評価（演習）	13:40~15:10	90	グループ毎に、自己プログラムを報告する とともに、より具体的な企画立案に向けて 相互に評価を行う。
	休憩	15:10~15:20		
4コマ目	プログラム企画の共有（発表） プログラムの実行に向けた合意 形成・地域連携（講義）	15:20~16:50	90	各グループで協議したプログラムを発表し、 全体で共有する。 プログラム実施に向けて、合意形成のプロセ スや地域との関係づくりについて学ぶ。
	休憩	16:50~17:00		
5コマ目	評価及び解説	17:00~17:45	45	全体評価（筆記試験含む）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2020年8月1日
	② 2020年9月13日
	③
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)
	② //
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○地域に対するプログラムの企画 木村 綾 氏</p> <p>2000年3月 岡山県立大学保健福祉学部保険福祉学科卒業 2002年3月 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻修士課程修了</p> <p>2002年4月 静岡県社会福祉協議会入職 (企画情報課) 2006年4月 静岡県社会福祉協議会 福祉人材部研修課 ※認知症介護研修 (実践者、リーダー、管理者、開設者等) 従事</p> <p>2010年4月 静岡県社会福祉協議会 地域づくり課 2012年4月 静岡県社会福祉協議会 地域づくり課主任 2016年4月 静岡県社会福祉協議会 地域福祉課主幹 2018年4月 静岡県立大学経営情報学部経営情報学科 講師 ※地域福祉マネジメント論、公共健康政策論等担当</p> <p>社会活動 :</p> <p>2012年6月 静岡県社会福祉士会理事 (～2016年5月) 2013年4月 静岡市健康福祉審議会 (地域福祉専門分科会) 専門委員 (～2018年3月) 2019年4月 静岡市健康福祉審議会 (高齢者保健福祉専門分科会) 専門委員 (現在に至る) 2017年7月 静岡市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価推進委員会委員 (現在に至る)</p> <p>主な著書 :</p> <p>介護事業所における人材確保と定着に関する一考察～静岡県内の介護事業所における実態調査結果とヒアリングから～. 経営と情報 ; 30(2) : p31-41. 2018. 3. 障害者に対する住民の偏見に関する動向－静岡県民への調</p>

	<p>査結果から－. 中部社会福祉学研究 ; 創刊号, 39-46p. 2010. 3.</p> <p>障害幼児の母親における情報源の利用と評価. 厚生 の 指標 ; 51(13). 19-26 p. 2004. 11</p>
	<p>担当する講義等</p> <p>事後課題評価</p> <p>木村 綾氏</p> <p>経歴等は同上</p>
(3)実施体制	
<p>研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)</p>	<p>認定介護福祉士養成研修実行委員会 (非常勤:6名) 委員会事務局 (担当事務局員:常勤2名・非常勤2名)</p> <p>認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。</p>
<p>研修の企画運営に関する諸規程</p>	<p>静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。</p>
<p>研修管理責任者職名</p>	<p>会長</p>
<p>研修管理責任者氏名</p>	<p>及川 ゆりこ</p>
<p>機構問合先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>機構問合先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>
<p>機構問合先電話番号/FAX</p>	<p>054-253-0818 / 054-253-0829</p>
<p>機構問合先 e-mail アドレス</p>	<p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p>
<p>受講問合先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講問合先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>
<p>受講問合先電話番号/FAX</p>	<p>054-253-0818 / 054-253-0829</p>
<p>受講問合先 e-mail アドレス</p>	<p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p>
(4)研修履歴の管理体制	
<p>受講者への付与単位部門</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講履歴の管理方法</p>	<p>○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低10年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。</p>
<p>受講履歴の証明</p>	<p>各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。</p>
<p>管理責任者氏名</p>	<p>及川 ゆりこ (会長)</p>
<p>管理担当者氏名</p>	<p>平野 美智子 (事務局長)</p>

